

令和4年11月29日

各位

島根大発のバイオピリン検査を用いた実証事業が
神奈川 ME-BYO リビングラボで採択されました。

◆本件のポイント！

島根大学医学部でその意義が発見され実用化されたバイオピリン検査を用いた実証事業が神奈川 ME-BYO リビングラボで採択されました。

◆本件の概要

近年、仕事や職業生活に関して強い不安、悩み又はストレスを感じている労働者が5割を超える状況にあります。従業員数50名以上の事業場においては、法律に基づきストレスチェックが義務付けられていますが、精神障害を発病して労災認定される方は増加傾向にあり、労働者のメンタルヘルス不調を未然に防止することが益々重要な課題となっています。こうしたストレスチェックに加え、自覚症状に表れない段階でも、メンタルヘルスの状態を客観的な指標により知ることができれば、セルフケアや会社・医療機関への相談等、改善に向けた行動につながる事が期待できます。

そこで本実証では、ストレスチェックが義務化されている神奈川県内の事業場に勤める従業員を対象に、職業性ストレス簡易調査票の評価結果と、心理ストレスが引き金となる疾患や精神疾患発症との関係が指摘されている酸化ストレス（活性酸素）の指標である尿中バイオピリン濃度を比較することで、新たなストレスチェック指標の確立に向けた検証を神奈川 ME-BYO リビングラボ*において行います。

*神奈川 ME-BYO リビングラボ；

神奈川県が、県内市町村や CHO 構想（健康経営）を実践する企業、アカデミア等と連携し、未病関連の商品・サービスの機能・効果等を検証する実証フィールドのマッチングを支援するとともに、その実証結果の評価を行います。県民がより安心して未病改善の実践に取り組めるよう、地域や職域における健康課題の解決や新たな社会システムの構築に資する未病関連商品・サービスの事業化、産業化及び社会実装を促進します。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/cnt/f536534/index.html>

連携機関

第一生命保険株式会社（東京都千代田区）、第一生命ホールディングス株式会社（東京都千代田区）、国立大学法人島根大学医学部（島根県出雲市）、株式会社 RESVO（川崎市川崎区）

◆概要内容

精神疾患はその患者数や増加率が大きく、現在、糖尿病やがんをも上回る勢いで増加の一端を辿っております。今や、がん・日本の5大疾患にも認定されるほど、その問題は深刻となってきています。精神疾患の発症の引き金とも言われているメンタルストレスを、客観的に評価し適切な対策を取っていくことが重要です。

2018年から島根大学医学部精神医学講座と（株）RESVO社の共同で設立された免疫精神神経学（共同研究講座）を中心に、精神疾患発症の前駆段階である ARMS；At Risk Mental State の研究が行われ、ARMS患者において「バイオピリン」というメンタルストレスに関連する分子が尿中に出てくることを発見しました(Wake et al. Early Interv Psychiatry 2022 Mar;16(3):272-280)。この発見は未病状態にある精神疾患の把握に尿中バイオピリンが有用である可能性を示していることから、「バイオピリン検査サービスパック」が商品化され、2021年9月より一般向けに販売を開始しました。

今回、このバイオピリン検査を用いた実証事業が、神奈川県内の神奈川 ME-BYO リビングラボで採択され、神奈川県内において企業従業員における職業性ストレス簡易調査票とバイオピリン検査の比較検討研究を行います。今回の様な取り組みによって島根大学でその意義を発見され実用化されたバイオピリン検査が全国的に広がっていくことが期待されます。

◆本件の連絡先

島根大学医学部 免疫精神神経学（共同研究講座） 特任教授 大西 新（おおにし あらた）

電話：0853-20-2262 Fax：0853-20-2260

e-mail：information@resvo-inc.com